

## 木下 雄介 (ヴィオラ)

岡山市生まれ。8歳から25歳までの17年間をイギリスで過ごす。マンチェスター・チータムズ音楽学校、英国北王立音楽大学を卒業。これまでに今井信子、トーマス・リーブル、アネット・イッサーリス、デイヴィッド・タケノ各氏に師事。イソラーニ・カルテットのメンバーとしてイギリス各地で演奏、2009年第一回メルボルンで開催されたアジア・パシフィック室内楽コンクールにて、セミ・ファイナリスト。2010年ロンドン交響楽団のオーケストラアカデミーでトレーニングを受ける。これまでに、ハレ管弦楽団、エイジ・オブ・エンライテンメント管弦楽団等で弾き、研鑽を積む。2010年よりバロックオーケストラ ウォルフィッシュ・バンドのヴィオラ奏者として活動後、2012年日本帰国。これまでにイギリス・ケント、倉敷、広島にてソロリサイタルを開催。2014年フィリピン・マニラにてソロリサイタル及びマスタークラスを開催。現在大阪フィルハーモニー交響楽団トップ奏者として活動する傍ら、岡山大学交響楽団にて後進の指導に情熱を燃やしている。



## 富田 牧子 (チェロ)

バロックと現代のスタイルの楽器にガット（羊腸）弦を張り、自然体の音楽と室内楽の楽しさを広める活動をしている。東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。ソロだけでなく室内楽でヨーロッパ各地の講習会や音楽祭に参加。大学院修士課程修了後ハンガリー・ブダペストに留学、バルトーク弦楽四重奏団チェロ奏者ラースロー・メズー氏に師事。NHK-FM「名曲リサイタル」、ORF（オーストリア放送）の公開録音に出演。各地でリサイタルを開催するほか、弦楽四重奏団メンバーとしての活動を経て、コンサートホール以外にも演奏の場を広げ、様々な楽器との組み合わせによる「充実した内容の室内楽を間近で味わうコンサート」の企画・制作・演奏を続けている。

<http://tomitamakiko.seesaa.net>



photo by Shinichi Kida

## 近藤 浩平 (作曲)

2010年ベルリン・ドイツ・オペラ《Klang der Welt Ostasien(世界の音・東アジア)》作曲コンクール第2位(室内楽)。左手のピアノ曲は智内威雄氏、館野泉氏による演奏機会が多く、ベルリンのフィルハーモニーでも演奏された。作品はブダペスト祝祭管弦楽団室内楽シリーズ、国際ワーグナー協会総会など世界各地で演奏されている。ギター、ピアノやヴィオラの協奏曲や、野村誠氏とのコラボレーションによる鍵盤ハーモニカ作品もある。震災の追悼作品「海辺の祈り～震災と原子炉の犠牲者への追悼」は世界各地で演奏されている。2016年9月にはアリゾナ州で約1週間にわたる Kondo Festival が開催される。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、関西現代音楽交流協会会員。

<http://koheikondo.com>